



第23号

2011年12月懇談日

尾張旭市立東中学校

この通信は、2年生のみなさんと保護者の方々に向け、編集・発行しています。

<http://www.owariasahi.jp/higashi-j>

編集: 深谷 勇子

職場体験・マナー講座の経験を
活かす



職場体験生徒感想

☆ たった2日間だったのに立ちっぱなしの仕事で足が痛くなってしまう。これが毎日のように続けている人たちがすごいと思った。自分ももう少し我慢する力が必要だ。

☆ アルペン尾張旭店に行きました。大人はこうやって毎日、一生懸命働いているんだなと思った。

☆ 職場体験を通して、私ももっともっと笑顔で毎日いられるように、ハキハキ大きな声であいさつや返事ができるように、足りないところを直していきたい。

川染文乃さん

☆ 職場体験を通して、自主的に動くことを今後に生かしたい。

☆ 環境事業センターの経験で仕事は楽じゃないけど、とても達成感を感じるというところがわかりました。これからは、辛いことでも最後まで頑張りたいです。

☆ 松下レディースの体験で、ずっーと赤ちゃんを抱っこしていると、頭が重くて支えるのに疲れた。赤ちゃんがなかなか泣き止まなかったので大変でした。

☆ パンデコマでお客さんに飲み物を出すときに待たせちゃいけないのであせった。お皿を片付けるときにお客さんから笑顔で「ごちそうさま」と言われてうれしかった。働いている人が笑顔だとお客さんも笑顔だった。笑顔は伝わっていくようだから、私もこれからも笑顔でいたい。

☆ お客さんに悪い影響を与えないようにするために、一生懸命掃除をすることは大切で、学校ですっかり毎日の掃除をやってないと思いませんでした。



☆ あさひディサービスではお茶をだし、お話をしたりしました。皆さんは本当に優しくしてくれて、緊張が解けてやりやすかったです。あさひディサービスの皆さんにはやり方とかを教えてくださいましたのでスムーズに動くことができました。

☆ 私は材料を小分けする作業が印象に残っています。なぜかという、決まった重さに分けるとき、なかなかピツタリの重さにならなくてすごく苦戦しました。でもお店の人はこの作業を毎日やっているから慣れた手つきでとても早くやっていました。お店の人は「こういう地味な作業が大切なんだよ」と言っていました。私も地味なことでもコツコツ頑張ってやりたいと思いました。

☆ 今回私はマクドナルドでハンバーガーを作ったり、接客したり、いろいろなことを2日間の間で体験することができました。マクドナルドの制服も着て本当のアルバイトのように対応してくださったのですごくうれしかったです。マクドナルドで働いているみなさんは笑顔ですごいと思いました。私も将来お客様を相手にする仕事につきたいです。



「ダメ。ゼッタイ。」

薬物乱用防止講座を受けて

☆「ちよつとだけ」とか「1回なら」とかいう軽はずみな行動はいけないと思いました。「少しだけならいい」という気持ちで大人になる前になくさなければ、いけないということ学びました。

☆薬物はとても恐ろしいものだということがわかった。「一回だけなら」という甘い考えは通用しないということがわかった。イライラを紛らわす方法は薬じゃなくて、人とのコミュニケーションを大切にしたいと思った。

最近の新聞で、

ー 11月23日中日新聞より
中日の落合監督の「応援感謝の集い」でのあいさつの中で、

俺流と言われてきたが、普通のことをやらせることができるかどうか。継続してやろうと思ったら、基本に忠実に。勝つためには、**こつこつが一番近道**だし、現実的。私の中で「らしい野球」というのは**普通のこと**が**普通にできるかどうか**。**当たり前前**のことを**当たり前前**にやる**のが一番**。

ということを言われていました。

この言葉を聞いて、ニュースを見て、「そうだ。特別にすごいことや素晴らしいことを求めるのではなく、当たり前前のこと・普通のことがいかにできるか、が本当は難しく、すごいことなのではないか」と思いました。

皆さんも、当たり前前に給

食当番や清掃活動ができて、毎日こつこつと学習・運動（部活動）に励むことが、今の皆さんにとって大切です。しかも自分を成長させてくれる大きな力になるのです。

また、掃除の時間、当たり前前のようにきれいにしてくれる生徒を多く見ます。あなたたちのおかげで、教室が、廊下が、トイレがきれいです。ありがとうございます。